

2018年6月20日

「電気料金の自由化に関する消費者アンケート」結果報告

一般社団法人 全国消費者団体連絡会

2016年4月から電力小売の全面自由化が始まり、一般の消費者は電力会社（小売電気事業者）や料金プランを自由に選べるようになりました。

また電力会社（小売電気事業者）の新規参入が始まり、電力会社（小売電気事業者）は自由な料金プランの設定ができるようになりました。

今回、全国消団連では、家庭用電力小売自由化開始から2年を経過した時点の、消費者の電気料金の自由化についての現状認識やご意見について調査しました。その結果を報告します。

【調査結果のポイント】

- ・ **スイッチングについて**、「電力会社を切り替えた（35.6%）」「今までと同じ会社で料金プランを切り替え（3.9%）」を合わせると、回答者の4割近くが切り替えており、消費者委員会の調査結果（約18%）（注）に比べて高かった。
- ・ **切り替えた理由は**、「切り替えた方が料金が安くなる」「原発由来の電力を使いたくない」「大手電力会社から切り替えたい」「再生可能エネルギーを使いたい」というものが多く、「1箇所（ガス、電気、電話など）まとめて支払える」「営業で強く勧められた」という理由もあった。
- ・ **切り替えていない理由は**、「切り替えるメリットを感じない」「面倒だから」「切り替えるということがどういうことかわからない」「他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない」「マンションの一括受電や集合住宅のため」というものが多く、「切り替えたい電力会社が見つからない」「選択肢が少ない」「もう少し様子を見て」という理由もあった。
- ・ **経過措置料金については**、「知らない（39.5%）」「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない（43.9%）」が合わせて8割を超えており、ほとんど認知されていない。
- ・ **経過措置料金規制が解除されることについての考えは**、「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きていることを確認できれば（2020年以降に）料金規制を撤廃しても良い（37.1%）」「わからない（24.9%）」「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きるとは思わないので、2020年に料金規制を撤廃するのはまだ早い（23.9%）」の順となり、「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きると思うので、2020年に料金規制を撤廃しても良い」は9.8%にとどまった。
- ・ **経過措置料金規制が解除されることについての意見は**、「消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので2020年の撤廃には反対」「料金規制を撤廃しても競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対」「大手電力会社が送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はするべきではない」「何をもって競争が十分にできているとするのか根拠を明確にしてほしい」といった意見のほか、「撤廃されたら電気料金はどうなるのか」「撤廃後の監視体制を徹底してほしい」「撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価が必要」「料金プランをわかりやすく提示してほしい」「将来を考えると競争は必要」などの意見があった。

【調査概要】

実施期間：4月27日～5月18日

調査対象：一般消費者

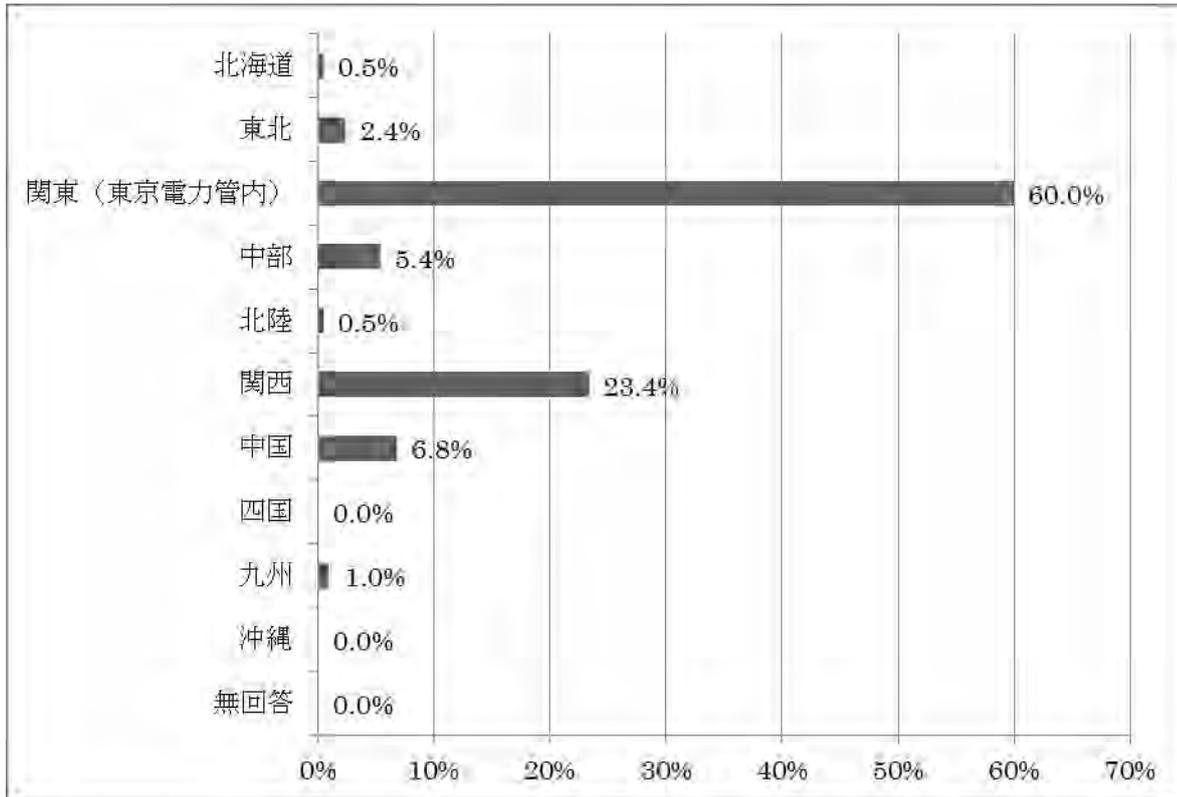
調査方法：ホームページ及び会員団体を通しての回答呼びかけ

回答数：207通（うち有効回答数205通）

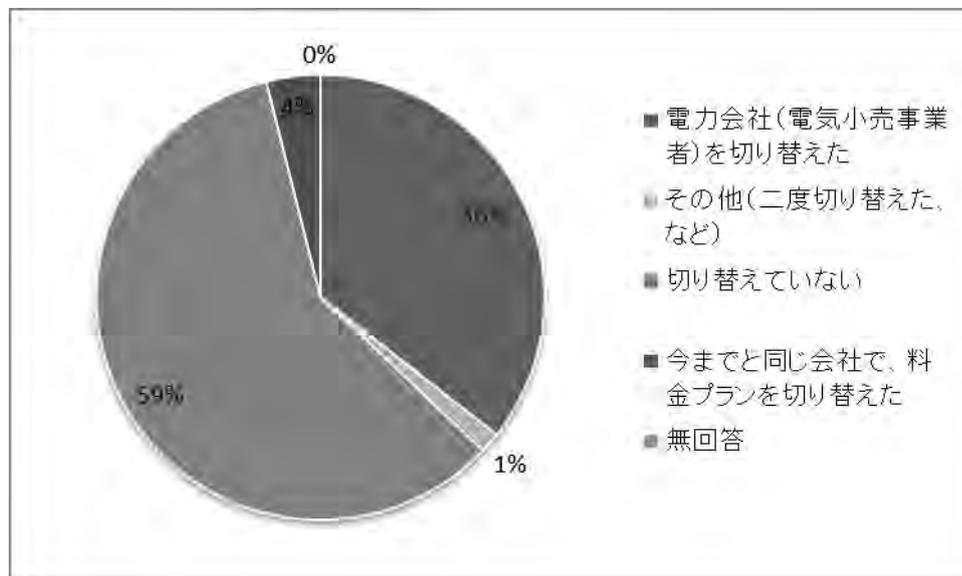
（注）電力・ガス小売自由化に関する消費者の意識について（平成30年4月26日第45回消費者委員会公共料金等専門調査会資料3）

*以下、回答中の個社名は、業種名（大手電力、ガス会社、新電力、携帯電話会社、生協など）に替えています。

Q 1. あなたのお住まいの地域はどこですか？ (n=205)



Q 2. あなたの世帯では、電力小売全面自由化以降、電力会社（電気小売事業者）を切り替えましたか？



Q 3. (任意) よろしければその理由を教えてください。 (回答数：174)

* 「電力会社（電気小売事業者）を切り替えた」方の回答 (回答数：69より抜粋)

- ・ 切り替えた方が料金が安くなるから
- ・ 原子力発電を行っている（行おうとしている）事業者とは契約したくないから
- ・ 大手電力との契約をやめたかった
- ・ 再エネ率の高い事業者に切り替えたかったから
- ・ 新電力を応援したかったから
- ・ 切り替えることで社会に貢献できる、意思を表明できると考えたため
- ・ 1箇所で（ガス、電気、電話など）まとめて支払えるから

- ・利用している携帯電話で割引があったため
- ・営業で強く勧められた（らしい）
- ・簡単に切り替えできたから

***「今までと同じ電力会社で、料金プランを切り替えた」方の回答（回答数：5より抜粋）**

- ・ポイントが貯まるから
- ・単価やサービスが向上しました
- ・比較情報がなかった

***「切り替えていない」方の回答（回答数：97より抜粋）**

- ・変える必要性やメリットを感じない
- ・業者の選択や手続きが面倒であるため
- ・変えるということがどういうことか分からない、また変え方が分からないため
- ・自由化を促進することが、市民にとって良いことか悪いことか分からないため控えている
- ・各社の違いが分かりにくく、スイッチの判断が難しい
- ・切替先となる事業者のプラン等の内容を正確に把握する機会がないため
- ・切り替えたいと思うが、他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない
- ・再生エネにしたいのだが、適切な事業者の情報がない
- ・マンション一括受電のため
- ・借家であり大家が電力会社と契約しているため
- ・原発由来の電気じゃないところに変えたいが、そうすると私が住んでいる地域だと結局ガスや石油由来の会社の選択肢しかない。もっと自然エネルギーを主体にやっている会社に変えたいのだが・・・。
- ・比較して、切り替えたい電力会社が見つからなかった
- ・新しく電気・ガスセットの電力会社を選択したいのですが、今の居住地ではガスがプロパンのためいまだに可能になっていません
- ・東北の場合は選択肢が少ないから
- ・他に選択肢がないから
- ・新規参入は不安だから 主人の同意が得られなかったから
- ・停電になった時の対応の不安。自由化が既存の電力会社の料金に反映されて安くなることは賛成するがまずは安定供給を望むため変更は考えていない。
- ・切り替えた会社が倒産したらどうなるのかとか、諸対応に不安があるから
- ・今までの電気料金より安くなるという説明に根拠が見いだせず、さらに悪徳商法としてまかり通っているので真偽が見分けられないから
- ・検討中です
- ・切り替えたいと思っているが、もう少し様子を見てみたいから

***「その他」の回答（回答数：3より抜粋）**

- ・自宅の屋根に太陽光パネルを置き、鉛の蓄電池で蓄電して使う「自給自足」をするようになったため
- ・大手電力からガス会社へは、自由化を待ってすぐに変更しました。一時でも早く原発の電気を売る大手電力をやめたかったから。ガス会社から生協に変えたのは、ガス会社が火力発電を行っていたから。生協の電気は風力・バイオマス・太陽光・小水力発電等再生可能エネルギーのみなので。

次の文をお読みになり、Q4以後の質問にお答えください。

電力小売自由化が始まる前は、電力会社は地域に1社だけしかありませんでした。そのため、独占的地位に乗じて不正な料金値上げを防ぐことなどを目的に、料金を変更（値上げ）する場合には国の認可が必要となっていました（これを規制料金といいます）。

2016年4月に、電力小売自由化が始まってからは、新たな電力会社（電気小売事業者）の参入が可能となり、電気料金についても電力会社（電気小売事業者）が自由に設定できるようになりました。しかし競争が十分に進展するまでの間、主に消費者保護のために規制料金を残すことになっています。（これを「経過措置」といいます）。

2020年4月以降は、競争が十分に起きていないなど、電気の使用者の利益を守る必要が特に高いと認められる区域を除き、経過措置は解除され、規制料金は廃止される予定です。現在、経産省の研究会や審議会等において、解除の条件等の検討が始まっています。

***「その他」の記載（回答任意：回答数：9より抜粋）**

- ・電力会社同士の競争が十分に起きるとは思いませんが、規制撤廃の効果も期待できません
- ・大手以外が普及できる競争力を持てる条件の整備が必要なのにされていないので、時期尚早
- ・撤廃すべきではない
- ・都会は2020年に撤廃しても良い
- ・電気代が高くなるのも安くなりすぎるのも困るので、そのあたりの監督がきちんとできるのであれば撤廃しても良い

Q6. 経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること（規制料金の廃止）について、わからないことやご意見等を自由にご記入ください。（例：撤廃されたら電気料金はどうなるのか、料金プランを選べるので撤廃しても良い、撤廃後の監視体制を徹底してほしい、など）（回答任意回答数：135より抜粋）

- ・消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので2020年の撤廃には反対です。
- ・切り替えしている人はまだ5%くらいと聞いているので、撤廃する状況ではないと思います。何をもって競争が十分にできているとするのか根拠を明確にしてほしいと思いますし、2020年撤廃には反対です。
- ・料金規制を撤廃しても競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対。
- ・大手電力会社が送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はすべきではない。
- ・廃止のまま自由化されれば携帯電話料金のように料金比較ができなくなってしまう。消費者を混乱させることになるので廃止は反対。少なくとも標準料金のようなものを公表させるべき。
- ・競合する企業が少ないので現状では期待できないが、将来を考えると競争は必要。
- ・大手電力会社は、新電力に比べてまだまだ巨大すぎて、公正な競争が成り立つとは思えません。
- ・既存の大手電力会社と対抗出来るような支援を新規電力会社にしないと、結果的には消費者利益につながらないのではないかと？
- ・現状では、新規算入業者に不利。自由競争のできる条件整備がされていないと思う。大手電力会社に有利な現状だ。新電力が育つ条件整備がされて初めて自由競争が成り立つ。送配電の完全な分離を進めていくべき。
- ・地方は大手独占からなかなか変わらないと思う。
- ・競争が十分おきていると誰もが納得できる判断の基準が問題だと思っています。
- ・撤廃されると料金が高くなるのか安くなるのかわからない。
- ・電気はなくてはならないインフラであるため、市場よりも企業に価格決定権があるイメージ。果たして低価格競争が積極的に行われるものか想像がつかない。これ以上高くなつては困る。生活を圧迫する。
- ・撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価されるようにしてほしい。
- ・現在の大手電力会社の影響力が強くなるかたちでの規制料金撤廃は市場競争を生まず、いびつな料金になるだけだと思います。より大手の電力会社の影響力をそぐような政策的介入をする必要があります。その上での、料金規制の撤廃であるならばよいかと思います。
- ・もし撤廃した場合は、大手電力会社だけが有利にならないような競争が進むような施策と監視体制をとってほしい。
- ・大手電力会社の料金を基準として他社も料金メニューを決めているのが実態だと思われるので、少なくともその状態が続く間はその基準となる料金について規制と監視を続けるべき。高福祉社会の実現と省エネルギーの観点から設定された3段階料金がなくなることでも不安で、それに代わる制度が必要。
- ・撤廃後、消費者が自由に選べるように個々のプラン、料金の一覧などの情報がほしい。
- ・各社、業務内容を開示し、透明性を担保していただきたい。料金プランを消費者にわかりやすく提示していただきたい。
- ・規制料金の廃止の仕組みが周知されていない気がするのもっと情報を周知する活動があったほうがよい。
- ・撤廃後に電気料金が上がるのか下がるのか、短期・中期でいいから見通しが欲しい。安易に乗り換えるのも怖い。

- ・疑問点が多々ありよくまだわかりません。完全自由化になって電力の供給が不安定になったカリフォルニアの例もあるが、日本で同様の状況が生じないのか。規制の撤廃で人口の多い地域はいいかもしれないが、地方は上がるのではないか。料金プランの細かな比較ができるまでの情報提供があまりないのでよくわからない。
- ・電話勧誘や訪問販売で不当な勧誘がされるのではないかと不安（しぼりのある契約や、違約金の説明などを十分にせずに契約締結させるなど）。
- ・規制料金の撤廃には賛成だが、大手電力は原発関連の会計制度が優位になっており、託送料金に移譲されるとなっているのは納得できない。送電網を各自治体が管理する必要があると思う。
- ・2020年に、現行の電力会社優遇策である「総括原価方式」を必ず撤廃させること。
- ・気になることは、料金が安くなるかということと、安定して供給されること、万が一のときに瞬時に復興してもらうことの三点である。総合的に大手を信頼しています。

以上

地域別回答状況①：電気の切り替え状況

| | 回答数 | 電力会社を切り替えた | | 同じ電力会社の料金プランを切り替えた | | その他（切り替えた） | | 切りかえていない | | その他（切りかえない） | |
|--------|-----|------------|--------|--------------------|--------|------------|-------|----------|--------|-------------|-------|
| | | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 |
| (単位) | | | | | | | | | | | |
| 北海道 | 1 | | | | | | | 1 | (100) | | |
| 東北 | 5 | 1 | (20.0) | | | | | 4 | (80.0) | | |
| 関東 | 123 | 47 | (38.2) | 3 | (2.4) | 1 | (0.8) | 72 | (58.6) | | |
| 中部 | 11 | 2 | (18.2) | 1 | (9.1) | | | 8 | (72.7) | | |
| 北陸 | 1 | | | | | | | 1 | (100) | | |
| 関西 | 48 | 23 | (47.9) | | | 1 | (2.1) | 24 | (47.9) | | |
| 中国 | 14 | | | 4 | (28.6) | | | 9 | (64.3) | 1 | (7.1) |
| 四国 | 0 | | | | | | | | | | |
| 九州 | 2 | | | | | | | 2 | (100) | | |
| 沖縄 | 0 | | | | | | | | | | |
| (参考)全体 | 205 | 73 | (36) | 8 | (4) | 2 | (0.7) | 121 | (59) | 1 | (0.3) |

| | 回答数 | 電力会社を切り替えた | | 同じ電力会社の料金プランを切り替えた | | その他（切り替えた） | | 切りかえていない | | その他（切りかえない） | |
|----------------|-----|------------|--------|--------------------|--------|------------|-------|----------|--------|-------------|-------|
| | | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 |
| (単位) | | | | | | | | | | | |
| 都市圏 (関東、関西) | 171 | 70 | (40.9) | 3 | (1.8) | 2 | (1.2) | 96 | (56.1) | 0 | |
| その他 | 34 | 3 | (8.8) | 5 | (14.7) | 0 | (0) | 25 | (73.6) | 1 | (2.9) |

電力会社を切り替えた理由

都市部、うち関東

《安くなる》

- ・切りかえた方が電気料金が安くなるから（12）
- ・電気料金が安くなるといわれたから
- ・電話料金、テレビ等込みで安くなるという説明を受け、変更した
- ・利用している携帯電話で割引があったため

《原発由来を使いたくない》

- ・原子力発電由来の電力を使いたくなかったから
- ・原発をやめようとする大手電力の電気は使いたくないので
- ・原子力発電を行っている（行おうとしている）事業者とは契約したくないから
- ・原発を無くしていくための意思表示
- ・原発反対

・原子力発電への不信

《大手電力から切り替えたい》

- ・大手電力から替えたかった（7）
- ・3.11以降大手電力が信用できなくなった（2）
- ・大手電力の誠意のない態度がイヤだから。
- ・大手電力が嫌だから

《再エネ電力を使いたい》

- ・再エネ率の高い事業者に切り替えられたから
- ・再エネを主として販売している小売にしたかった（2）
- ・自然エネルギーを使いたかったから
- ・再生可能エネルギーの普及の一助になりたいと思ったから。
- ・再生可能エネルギーを応援したいと思ったから。
- ・脱原発のために再生可能エネルギー中心の電力会社に変えた

《簡素化》

- ・1箇所で（ガス、電気、電話など）まとめて支払えるから（5）
- ・支払い方法の簡素化。

《勧誘等》

- ・携帯電話会社から勧められた
- ・（本人、家族が）勤務している団体が販売を始めたため

《その他》

- ・マンションの総会でマンションごと切り替えると決定したので（2）
- ・切り替えることで社会に貢献できる、意思を表明できると考えたため
- ・新電力を応援したかったから
- ・コープ商品にした
- ・簡単に切り替えできたから

都市部、うち関西

《安くなる》

- ・切り替えた方が料金が安くなるから（3）
- ・電気料金が安くなると言われたから
- ・自由競争で料金が安くなると思った。

《原発由来を使いたくない》

- ・原子力発電由来の電力を使いたくなかったから（7）
- ・原発をやめようとする大手電力の電気は使いたくないので（2）
- ・原発を進める電力会社から電気は買わない（2）
- ・大手電力は原発依存から脱却しようとするから。
- ・電源に占める原発の割合が小さく、さらに縮小への努力が期待できるから。

《大手電力から切り替えたい》

- ・大手電力との契約をやめたかったから
- ・大手電力の企業体質には憤りを感じているからです
- ・既存の電力会社の影響力が少しは薄まると思った。

《再エネ電力を使いたい》

- ・再エネ率の高い事業者に切り替えたかったから
- ・自然エネルギーを使いたかったから。
- ・脱原発のために再生可能エネルギー中心の電力会社に変えた
- ・原発再稼働反対の立場であり再生可能エネルギーを使いたいからです。

《勧誘等》

- ・営業で強く勧められた（らしい）。
- ・（本人、家族が）勤務している団体が販売を始めたため。

《その他》

・チェルノブイリ原発事故以後、日本に 35 基も原発があることがわかり、消費者グループに呼びかけ原発反対運動をしていましたのに、福島原発事故が起ってしまった。

都市圏以外

《安くなる》

- ・切りかえた方が料金が安くなるから

《再エネ電力を使いたい》

- ・再エネ率の高い事業者に切り替えたかったから

《その他》

- ・特になし

電力会社は変えず料金プランを切り替えた理由

都市圏、うち関東

- ・オール電化なので

都市圏以外

- ・ポイントが貯まるから
- ・単価やサービスが向上しました
- ・比較情報がなかった
- ・電磁波に過敏なので、スマートメーターを避けたかった。試しに携帯電話会社にたずねたがやはりスマートメーター必須といわれた。大手電力は今のところアナログメーターなので。地方では選べる会社も少なく、PCなしでは会社を調べる術もよく分からない。

その他（切り替えた）の理由

都市圏、うち関東

・一度目は、大手電力から携帯電話会社へ。電気代を払っていたカードを解約する予定でしたが、カード会社や電気会社に連絡するのが面倒で、スマホの買替のついでに携帯電話会社の窓口で申し込みました（携帯代を払うカードと電気代のカードがまとまるので都合が良かった）。二回目は、携帯電話会社から、生協へ。生協の申込みで 500pt 貰えたのと、生協の請求書で自分で電気代を把握できるので（携帯電話会社は主人名義のカードなので金額など見ることができなかった）。

都市圏、うち関西

・大手電力から瓦斯会社へ次に生協に変えた。大手電力から瓦斯会社へは、自由化を待ってすぐに変更しました。一時でも早く原発の電気を売る大手電力をやめたかったから。瓦斯会社から生協へ変えたのは、瓦斯会社が火

力発電を行っていたから。生協は風力・バイオマス・太陽光・小水力発電等再生可能エネルギーのみなので。

切りかえない理由

都市部、うち関東

《メリットがない》

- ・切り替えるメリットを感じない
- ・切替のメリットがなかったから
- ・一人暮らしのため、価格のメリットがないから。
- ・見積もりしたが、切り替えても料金が安くならないから
- ・変えると料金が高くなるので
- ・金額が変わらないということもあり、別にいいかなど。でも考えたりすることはあります。
- ・電力小売自由化は電気料金が安くなるメリットが大きい印象だが、1人暮らしのため、金額メリットがないため。
- ・自宅で太陽光発電で電気料金は支払いのない月もあり、切り替えのメリットを感じないので。
- ・毎月数百円のコストダウンを狙ったが、解約時に数万円代の手数料を請求されるなど、最終的に損をする可能性があるため静観しています。今は試験段階だと思うので、あえてリスクを取りに行く場所ではないという判断です。
- ・オール電化マンションのため、比較サイトで従来のプランが最適と 出たため
- ・切りかえるメリットが感じられない

《面倒》

- ・面倒だから (5)
- ・比較したり考えたりするのが面倒。
- ・なんとなく面倒な感じだから。
- ・切り替えが手間だから
- ・(切り替えは) 簡単だというのが、料金引き落としの変更とかはあるのではないですか？ その手続きがめんどうです。
- ・内容を知らないし、手続きが面倒だから。
- ・引っ越しなどを予定しているため、切り替えは煩わしい
- ・面倒だから 新規参入は不安だから 主人の同意が得られなかったから
- ・他社との比較をしている時間がないため。
- ・検討しつつもなんとなく変えていない (いつか変えなければとは思っています)

《よくわからない》

- ・よくわからないので (4)
- ・変えるということがどういうことか分からない、また変え方が分からないため
- ・見通しがわからない
- ・よくわからないので詳しい比較検討をしていない。
- ・きちんと勉強していないのでどこがいいのかわからない
- ・特になし。切り替えるキッカケがない？ よくわからない？

《情報不足》

- ・切り替えたいと思うが、他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない。
- ・大手電力からは切り替えたいと思っているが、ほかにどのような事業者があるのか、どの事業者がよいのかなどの情報が (瓦斯会社や、鉄道会社などの大手事業者以外に) 入手しにくく、実行できていません。

- ・再生エネにしたいのだが、適切な事業者の情報がない。
- ・各社の違いが分かりにくく、スイッチの判断が難しい
- ・切替先となる事業者のプラン等の内容を正確に把握する機会がないため。
- ・自宅の屋根で発電している太陽光での電気をいくらで買い取ってくれるかわかりやすい説明をしてくれるところがないから。

- ・具体的に、他の会社を選んだ場合、どの程度の値引きがあるのか分からない。
- ・火力、原子力等、各会社がどの発電をどの比率でしようしているか調べてないため
- ・切り替えができることは知っていたが、その方法を調べる等、まだしていない

《マンション一括受電等》

- ・マンション一括受電のため（２）
- ・マンション住まいなので個人では変えにくいから。
- ・マンション全体で自由化前から大手電力以外の小売業者に替えていたから
- ・マンションの管理組合が一括で契約しているため、個々の入居者が自由に切り替えることができない。
- ・マンションであり、変更が面倒
- ・シェアハウスに住んでおり、契約の主体が自身ではないため、切替のための手続きに着手できていません。

《選択肢がない》

- ・比較して、切り替えたい電力会社が、見つからなかった。

《安定供給、不安》

- ・停電になった時の対応の不安。 東日本大地震の時原発問題はありましたが一般家庭への対応は良かったと思いました。その後も小さな事トラブルをニュースでみても大手電力の安定供給に安心しています。
- ・切り替えた会社が倒産したらどうなるのかとか、諸対応に不安があるから

《その他》

- ・検討中です
- ・切り替えたいと思っているが、もう少し様子を見てみたいから。
- ・ガスの自由化も考慮に入りたいと考えるが、時は熟していない。
- ・今までの電気料金より安くなるという説明に根拠が見いだせず、さらに悪徳商法としてまかり通っているので真偽が見分けられないから
- ・踏ん切りがつかない。大手電力のままだが、別に電気料金はこのままで良いし、「原発の電力はノー！」みたいな気持ちも正直薄れてきているから。
- ・未だよく研究していない。オール電化の住宅でガス会社とは契約していないし、その他事業者を慎重に検討したいと思っている内に時間が経ってしまっている。

都市部、うち関西

《メリットがない》

- ・今のプランが一番安いので（２）
- ・切り替えると冬の電気代が、かなり高くなり年金暮らしには、厳しい。
- ・深夜電力を安値で契約しているので（エコキュート導入）、他社に切り替えれば電気代が高くなると推測される
- ・オール電化の割引のメニューで選択しているため

《面倒》

- ・調べるのがめんどろで、そのままになっています。

《よくわからない》

・自由化を促進することが、市民にとって良いことか悪いことか分からないため控えている

《情報不足》

・切りかえてメリットが本当にあるのかがわかりません。大手電力をやめたいけれど、他のどこにかえるとよいかわかりません。

・大手電力から切り替えたいと考えているが、どんな電力会社が使えるのか、情報がなくてそのままになっている

・大手電力を変えたいと思っているが、どこがいいかわからない。また、比較検討する時間がない。

・世帯人数の変動が想定されており、メリットがあるか不明なため

《マンション一括受電等》

・マンション住まいなので、個人では変えにくいから

・マンションなのでダメだと思っていた

・借家であり大家が電力会社と契約しているため

《選択肢がない》

・原発由来の電気じゃないところに変えたいが、そうすると私が住んでいる地域だと結局ガスや石油由来の会社の選択肢しかない。もっと自然エネルギーを主体にやっている会社に変えたいのだが・・・。

・新しく電気・ガスセットの電力会社を選択したいのですが、今の居住地ではガスがプロパンのためいまだに可能になっていません。

《安定供給、不安》

・10年前にオール電化にして、その時料金プランをお得なはぴEプランにしました。震災等、何かあった時の対応等考えて大きなところの方が安心と思い、大手電力にしています。

《その他》

・再エネの新電力に切り替えたいが、オール電化住宅のため未だ思案中だが、原発の電気は使いたくないので電力消費量を20～30%削減した。

・単身赴任中のため

・新規参入会社と契約するに当たり、全ての会社がスマートメーターに切り替えないといけないという契約を、関電と契約を交わしていた。しかし経産省に確認するとそういうことになっている法律は無いということだった。スマートメーターに多くの問題点を残したまま、悩んだ揚句、以前のままの大手電力の契約のままである。

・エコキュート(IH)に数年前に替えて、ガス設備をやめた。ガス使用で火災の恐れから電気のみとしました。ガスは使っておりません。

都市圏以外

《メリットがない》

・他社への変更は面倒、メリットはないと考えた

・価格メリットが少ない。再エネ比率の多いところが少ない。

・特に変更する理由がなかったから

・今のままで問題がないため。

・変える必要性を感じない。

《面倒》

・面倒だから

・業者の選択や手続きが面倒であるため

・積極的に情報収集していないため、単にそのままの状態になっているだけ。

《よくわからない》

・改善策になるのかなあ？ってところです。

《情報不足》

・現在、深夜割引契約をしているので、電力会社を切り替えて料金体系がどのようになるのか、正確な情報がな
いため。

・どのような電力小売事業者に切り替えるのがよいのかよくわからないから。

《マンション一括受電等》

・マンションで、電化住宅、お得な契約プランに入っているため

・集合住宅なので切り替えできないと思っていた。

《選択肢がない》

・東北の場合は選択肢が少ないから

・他に選択肢がないから

・切り替える対象が見つかっていない。

《安定供給、不安》

・自由化が既存の電力会社の料金に反映されて安くなることは賛成するがまずは安定供給を望むため変更は考え
ていない。

《その他》

・しばらくようすをみてと相談して、そのままになっている。

・あとで不都合が起きて電気が使えなくなったら大変困る

その他（切りかえない）の理由

都市圏以外

・（電力会社との契約をやめた。）自宅の屋根に太陽光パネルを置き、鉛の蓄電池で蓄電して使う「自給自足」を
するようになったため。

地域別状況②：経過措置料金規制の認知度

| | 回答数 | 内容も含め知っていた | | 聞いた事はあるが、詳しい内容は知らなかった | | 知らなかった | |
|--------|-----|------------|--------|-----------------------|--------|--------|--------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| (単位) | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 北海道 | 1 | | | | | 1 | (100) |
| 東北 | 5 | 2 | (40.0) | 1 | (20.0) | 2 | (40.0) |
| 関東 | 123 | 18 | (14.6) | 54 | (43.9) | 51 | (41.5) |
| 中部 | 11 | 2 | (18.2) | 5 | (45.4) | 4 | (36.4) |
| 北陸 | 1 | | | | | 1 | (100) |
| 関西 | 48 | 9 | (18.8) | 23 | (47.9) | 16 | (33.3) |
| 中国 | 14 | 3 | (21.4) | 6 | (42.9) | 5 | (35.7) |
| 四国 | 0 | | | | | | |
| 九州 | 2 | | | 1 | (50.0) | 1 | (50.0) |
| 沖縄 | 0 | | | | | | |
| (参考)全体 | 205 | 34 | (17.0) | 90 | (44.0) | 81 | (39.0) |

| | 回答数 | 内容も含め知っていた | | 聞いた事はあるが、詳しい内容は知らなかった | | 知らなかった | |
|------------|-----|------------|--------|-----------------------|--------|--------|--------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| (単位) | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 都市圏(関東、関西) | 171 | 27 | (15.8) | 77 | (45.0) | 67 | (39.2) |
| 都市圏以外 | 34 | 7 | (20.6) | 13 | (38.2) | 14 | (41.2) |

地域別状況③：経過措置料金規制解除に対する見解

| | 回答数 | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きると思うので、2020年に料金規制を撤廃しても良い | | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きると思わないので、2020年に料金規制を撤廃するのはまだ早い | | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きていることを確認できれば(2020年以降に)料金規制を撤廃しても良い | | わからない | | その他(記述あり) | |
|--------|-----|---|--------|--|--------|--|--------|-------|--------|-----------|-------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| (単位) | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 北海道 | 1 | | | | | 1 | (100) | | | | |
| 東北 | 5 | 1 | (20.0) | 2 | (40.0) | 1 | (20.0) | 1 | (20.0) | | |
| 関東 | 123 | 12 | (9.8) | 23 | (18.7) | 52 | (42.2) | 30 | (24.4) | 6 | (4.9) |
| 中部 | 11 | | | 6 | (54.5) | 1 | (9.1) | 4 | (36.4) | | |
| 北陸 | 1 | | | | | | | 1 | (100) | | |
| 関西 | 48 | 7 | (14.6) | 12 | (25) | 16 | (33.3) | 11 | (22.9) | 2 | (4.2) |
| 中国 | 14 | | | 6 | (42.9) | 5 | (35.7) | 2 | (14.3) | 1 | (7.1) |
| 四国 | 0 | | | | | | | | | | |
| 九州 | 2 | | | | | | | 2 | (100) | | |
| 沖縄 | 0 | | | | | | | | | | |
| (参考)全体 | 205 | 20 | (10.0) | 49 | (24.0) | 76 | (37.0) | 51 | (25.0) | 9 | (4.0) |

| | 回答数 | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きると思うので、2020年に料金規制を撤廃しても良い | | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きると思わないので、2020年に料金規制を撤廃するのはまだ早い | | 電力会社(電気小売事業者)同士の競争が十分に起きていることを確認できれば(2020年以降に)料金規制を撤廃しても良い | | わからない | | その他(記述あり) | |
|------------|-----|---|--------|--|--------|--|--------|-------|--------|-----------|-------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| (単位) | 人 | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 都市圏(関東、関西) | 171 | 19 | (11.1) | 35 | (20.5) | 68 | (39.7) | 41 | (24.0) | 8 | (4.7) |
| 都市圏以外 | 34 | 1 | (2.9) | 14 | (41.3) | 8 | (23.5) | 10 | (29.4) | 1 | (2.9) |

*その他の意見

都市圏、うち関東

- ・これまでの制度の中の電気の供給と料金の決め方に関して、生じた課題を混同して考えているような気がします。総括原価の積み上げである規制料金が一番安価である、という前提は正しいのだろうか。
- ・大手以外が普及できる競争力を持てる条件の整備が必要なのにされていないので、次期尚早。

- ・ 都会は 2020 年に撤廃しても良い
- ・ 撤廃すべきではない
- ・ (幻想ではあるが) 安心できるという理由で選択される大手電力会社と、大手電力会社より低価格でかつ具体的利点を提示できる電気小売事業者が残っていくのだろう。
- ・ 電気代が高くなるのも安くなりすぎるのも困るので、そのあたりの監督がきちんとできるのであれば撤廃しても良い

都市圏、うち関西

- ・ 自由競争そのものは電力浪費や二酸化炭素排出増加を招く虞があるが、原価総括で料金を吊り上げ割高な原価にしがみつく電力閥を挫くためにはある程度必要と考える。
- ・ 電力会社同士の競争が十分に起きるとは思いませんが、規制撤廃の効果も期待できません。

都市圏以外

- ・ 発送電が自由に使えたりなどの参入会社が成長できる準備は大丈夫なのか？

*経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること（規制料金の廃止）について、わからないことや意見（自由記述）

都市圏、うち関東

《廃止に反対、時期尚早》

- ・ 消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので 2020 年の撤廃には反対です。
- ・ 料金規制を撤廃しても、競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対。
- ・ 大手電力会社が送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はすべきではない。
- ・ 国の金をつぎ込んでいる原子力発電をしている事業者がいる以上、規制料金を撤廃するには反対です
- ・ 切り替えている人はまだ 5%くらいと聞いているので、撤廃する状況ではないと思います。何を持って競争が十分にできているとするのか、根拠を明確にしてほしいと思いますし、2020年撤廃には反対です。

《競争、選択》

- ・ いずれにせよ、一社独占でなくなり、消費者が、自主てきに、選択できる環境は 良いと思う。消費者として、よく考えて行きたい。
- ・ 規制料金撤廃は、必ず料金値上げにつながり、生活を圧迫するという前提で考えると、廃止はよくないこととなる。一方、規制料金の計算は総括原価の積み上げなので、企業の経営努力等が乏しいままに料金が決まっているという見解もあり得る。省エネという自助努力と自由に電力会社を選べるという選択権を最大限行使して賢く電気を使うという道もあるのではないのでしょうか。

《競争が十分に起きていない、大手に有利》

- ・ 「競争が十分に起きていない」～大都市以外の人口減の中、地方では競合おこらないのでは？ 1万円ささえる一人当たり費用は地方は増額するのでは。鉄道会社のように地域格差がうまれるのでは
- ・ 電力会社がどのくらいの数あるのかわからないのですが、価格競争にはならないのでしょうか？ 小さい会社は不利にならないのでしょうか。
- ・ 現状では、新規参入業者に不利。自由競争のできる条件整備がされていないと思う。大手電力会社に有利な現

状だ。新電力が育つ条件整備がされて初めて自由競争が成り立つ。送配電の完全な分離を進めていくべき。

・既存の大手電力会社と対抗出来るような支援を新規電力会社にしないと、結果的には消費者利益につながらないのではないかな？

・東京電力エリアは、現在 59 の電力会社があるので、料金撤廃されたら、それなりの競争はあるでしょうが、地方はどうなんですか？そもそも選択肢が少なく、料金が高くなることもあるのかな？今までの独占事業よりは、ましなのかもしれないが、ほんとにそうなのかは、よくわかりません。全国一律、でなく、地域差を考えた時にすべてが丸なのか？

《判断基準を明確に》

- ・競争が十分おきていると誰もが納得できる判断の基準が問題だと思っています。
- ・なにをもって競争が起きている、いないを判断するのか、きちんと議論して欲しい。

《撤廃されたら料金はどうなるのか？上がる？》

- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか
- ・撤廃されると高くなるのか安くなるのかわからない。
- ・経過措置が外れたら値上げになるのか？そうなると、困る人がたくさん出てくるのでは？
- ・規制料金が廃止され、安くなるのはありがたいと思うが、どんどん上がる事はないのでしょうか。
- ・電気はなくてはならないインフラであるため、市場よりも企業に価格決定権があるイメージ。果たして低価格競争が積極的に行われるものか想像がつかない。これ以上高くなっては困る。生活を圧迫する。また、今の電力自由化に伴った料金プランは、ある程度の電気を使用する家族用のプランが多い為、1人暮らしには魅力を感じない。これから単身世帯がどんどん増える中では結局大企業が安心と信頼で独り勝ちでどんどん電気料金を吊り上げそう。
- ・撤廃後、結局のところ、電気代は高くなるのか、安くなるのか。携帯電話みたいに、やたらとややこしくなって選びにくくなるだけではないのか。
- ・撤廃後に電気料金が上がるのか下がるのか、短期・中期でいいから見通しが欲しい。安易に乗り換えるのも怖い。

《撤廃後の監視、規制》

- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか。
- ・撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価されるようにして欲しい。
- ・もし撤廃した場合は、大手電力会社だけが有利にならないような競争が進むような施策と監視体制をとってほしい。
- ・不当な料金設定が起こらないよう、しっかり監視する体制はとってほしいです。
- ・電気は必ずどの世帯でも契約が必要な基本的なインフラ。十分な情報が行き届かない高齢者などの弱者に対して（料金制度などを知らずに契約しており）高い料金負担となっていないかどうかなどの定期的な調査・チェックは必要だと思う。
- ・撤廃後の料金が上がりすぎないか不安なので監視体制を整えてほしい
- ・大手は、ほぼ談合のようなことをすると思われるので（震災対応や原発再稼働などへの態度で信用していない）、監視とコントロール手段が必要。
- ・本当に自由な競争が行われるのか、消費者の立場に立った規制を望みます。
- ・安定した供給は必要なので一定の規制は必要かと思う ・発送電分離をあわせて行なってほしい
- ・撤廃後の監視体制というか、併せて情報の公平な提供を望みます。

《情報提供の要望》

- ・仕組みが周知されていない気がするのでもっと情報を周知する活動があったほうがよい。
- ・規制料金の廃止についてPR不足だと思います。

・電気って必要不可欠だし、多少高くても大手の方が安心だし、安心という意味では、安ければ良いと思えるものでもない。ただ、もっと他電力会社の情報をもっと入ってくれば良いと思う。なので、とにかくよくわからない。

・複数のガス会社が営業にきたが、本当に安いのかよくわからない。撤廃されたら電気料金がどうなるのかも、よくわからないので、もう少しわかりやすい説明がほしい。

・各社、業務内容を開示し、透明性を担保していただきたい。各社、料金プランを消費者にわかりやすく提示していただきたい。

・撤廃後消費者が自由に選べるように個々のプラン、料金の 一覧などの情報がほしい

・料金プランを比較しやすいよう、各社の料金体系は一律にしてほしい。

・分かりやすく、比較しやすい料金プランにしてほしい。電源比率を明示して、再生エネルギーの割合などを示してもらいたい。

・料金設定の根拠の見える化。

・電気料金のすべての経費内容（比率等）が国民がどこからでも見られるようにすべきだ。

・寡占状態が続くようでは、大手電力会社の都合のよい料金になる可能性がある。競争状態がおこるよう、情報開示を進めるべき。また消費者の意識も大切。

・自然エネルギーを応援（利用、選択）できるような情報があると良いなと思っています。

・自然エネルギーを選びやすい（わかりやすい）ようにして欲しい。

《知りたい》

・本当に電力会社が選べるようになるのか？

・電気を1番多く使った時を基本料金として使わなくても下がらないと聞いたが本当か？

大手電力以外で自家発電分を買い取ってくれるところがあるのか、知りたいです。

・配送電分離はその前にされるのかどうか

・原発反対なので、自然エネルギーを少しでも使ってくれる業者など選べることは出来ますか？

・短絡的に考えれば、特に参入の多い首都圏においては、顧客獲得のために料金を引き下げよう、市場からの圧力がかかると考えられるが、そうしたなかでも留意しておくべき点、懸念すべき点を知りたい。

・電気料金の金額だけでなく、今まで同様のサービスが受けられるのかも知りたい

《心配、不安》

・撤廃されるとトラブルが起きた時キチンと対応してくれるか不安

・料金プランでの説明が十分とはいえない気がしていますので、規制撤廃後にさらに消費者理解が困難な料金プランが乱立するような気がし、漠然とした不安があります。

・消費者としては電気料金が安くなるのはうれしいが、料金プランが複雑になると選ぶことが大変になるとおもう

・それよりも発送電分離によるデメリットも議論して欲しい。災害時、電気は復旧が早いと言われているが、3社に分割するとそうした連携が上手くいくのか心配。

・価格競争のみでは不測の事態への備えが心配。価格競争がなかった時代も地震への備えができていなかったことが露呈していますが、、、

《その他の要望》

・再生可能エネルギーなどが選択できればと思っています。

・一人暮らしだと自由に電気会社を選べると言われてもどこもさほど変わりはなく、結局切り替えをしていない。・電気の自由化に限ったことじゃないけど、もっと一人暮らしでも料金が安くなったと実感できるような制度を作ってほしい。

《よくわからない》

- ・電力小売自由化が本当によいものなのかどうかすら不明です
- ・大手電力会社の料金自体が適正価格だったのか分からない。それを基準に電気小売事業者が価格を設定するのは正しい判断なのか分からない。
- ・関心がないのでよくわからない。

《様子を見る》

- ・今のところ状況をみておきたい。
- ・そこまで変な値上げはしないだろう、と楽観視してしまっている。「この値上げは許容できない」と思ったら流石に調べて乗り換えると思う。
- ・自由競争をしたら最終的には大手電力会社が残ることになるだろう。長い目で見れば電力利用者としては、大手電力会社から電気小売事業者に切り替えるほどの費用対効果はないだろう（月500円未満?）から、手間を省くために、私は大手電力会社を使っていくと思う。

《その他》

- ・原発反対なので、原子力発電に関係しない電力を真剣に考える時が来ていると思います。
- ・電気料金は、東日本大震災後に、値上がりしています。除染費用を、企業ではなく、一般人に負担させているのではないかと。その費用が、様々な形で、不正に流れているのを聞くと、この値上げが果たして必要なのか?大手電力の社員の給料は、十分に切り下げられているのか?疑問に思います。
- ・電力安全が大切であり、電源構成の開示状況も気になる。安かろう悪かろう、あるいは高値にはり付くのも困る。
- ・規制料金が残る託送費用に福島原発の事故費用や賠償費用が含まれるようになることが大問題だと思っています。再生可能エネルギー中心の電力会社を選んでも、原発の費用をなぜ負担しないといけないのか理解不能です。
- ・電気代と福島第一原発廃炉の関係
- ・送電線が大手電力会社のものなら自由化にも限度がある。環境にやさしい電力がどこまでできるのか、まだわからない。今は大手の価格での競争だけの様な気がする。今でも石炭火力を重視しているし、原発の再稼働も次々あり、信用できない。
- ・日本の電力政策も見通せない中、他の電力会社に行移行しても、メリット・デメリットかがはっきりせず、何年か後にまた変更するような状態で、「さあ質問ありませんか」と問われても「何もありません」と答えるしかありません
- ・大手電力からガス会社に変えましたが結局大手電力に戻しました。医院を経営していて、電気のちょっとしたトラブルでガス会社に問い合わせをしたところ、結局大手電力の力を借りないとダメということが分かりました。価格よりも供給の安定性を重視しました。安い料金でも安定性が確保できているかは重要です。
- ・今払っている電気料金と比べて選べるようになれば良い
- ・正直いろんな会社が宣伝にきてうるさいわりに安くなった気がしないので自由化になる前の地域1社の方がよかった
- ・とくにありません

都市圏、うち関西

《廃止に反対、時期尚早》

- ・もともと原発は廃止と考えているので、1月にわずか数百円の違いで（だろうと思うが）喧伝に戻るつもりは毛頭ない。現在ガス会社と契約しているが、原発の電気が入る事すらいや。
- ・撤廃には時期尚早だと思う。送電料金等の問題もある。
- ・廃止のまま自由化されれば携帯電話料金のように料金比較ができなくなってしまう。消費者を混乱させること

になるので廃止は反対。少なくとも標準料金のようなものを公表させるべき。

《競争が十分に起きていない、大手に有利》

- ・大手電力会社は、新電力に比べてまだまだ巨大すぎて、公正な競争が成りたつとは思えません。
- ・生活に直結している電気なので、まだ大手電力会社と新電力との競争力に差がある状態では不安を感じる。
- ・自由競争の中で本当に真の価格競争が起こるのかは少々疑問。
- ・大手電力会社は、様々なサービス（値下げも含めて）を実施して顧客の引き留めを図るので、あまり新規参入業者に流れないのでは。
- ・けっきょく大手電力会社が強いのでは？

《撤廃されたら料金はどうなるのか？上がる？》

- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか。企業にとって撤廃はメリットなのか。

《撤廃後の監視、規制》

・料金規制が撤廃されて、料金が自由化されれば、料金が企業の儲けの手段にされて料金が上がる可能性もあるかもしれない。そうならないために、適正な規制は必要ではないかとも思う。そうならないための保障、例えば、監視体制の強化などが必要であろう。

- ・撤廃後の監視体制を徹底してほしい（3）
- ・撤廃後も監視体制を徹底してほしい。
- ・撤廃後の監視が充分出来るかが心配なので、徹底いして欲しい。
- ・撤廃されたらどうなるのか、よくわからない。監視体制を徹底してほしい。
- ・撤廃されたら大きい電力会社が有利になるのではないか。撤廃後の監視体制などをもっと明確に知りたい。
- ・Q5・3番目の回答（新しく電気・ガスセットの電力会社を選択したいのですが、今の居住地ではガスがプロパンのためいまだに可能になっていません）に加え、その後も監視体制を強化してほしいです。
- ・独占企業の電力会社に自由競争はあり得ないと思います。先に電話事業における料金競争が政府による価格統制が入って通話料金、機器の価格が戻された経緯があった如く、消費者目線ではなかった。自由競争の原則と監視体制を望む。
- ・大手の電力会社の好きにさせないように第3者委員会みたいなので、厳しく監視してほしい。
- ・大手電力会社の料金を基準として他社も料金メニューを決めているのが実態だと思われるので、少なくともその状態が続く間はその基準となる料金について規制と監視を続けるべき。高福祉社会の実現と省エネルギーの観点から設定された3段階料金がなくなることも不安で、それに代わる制度が必要。
- ・きわめて公共性の高い事業なので関係する企業の経営に民主的なコントロール、監督する仕組みは欠かせないと思います。自由化を促進した結果、市民が自分の首を絞めることにならないように自分も努力したが公共団体も広報の責任があると思います。

《情報提供の要望》

- ・電気料金に含まれる内容すべてに、納得いく説明を消費者に、わかり易くして欲しい。
- ・ダンピング等を防ぐため、原価明細の公開を義務付ける必要がある。
- ・今はインターネットでいろいろな情報を調べられるようになっているが、そういうことの苦手な人もいると思う。そういう人にも正しい情報が入手できるようにしてほしい。

《知りたい》

- ・撤廃された場合の消費者にとってのデメリットは何ですか？
- ・撤廃された後、小さな小売事業者が結局競争に負けて倒産したら、その電力会社の電気を買っていた消費者はどうなるのか？スムーズに他の会社に移行できるのか？
- ・環境影響を最小限に抑えた再生可能エネルギーへの転化する為に何をすれば有効なのか知りたい

《心配、不安》

・値引き競争が激しくなり、不正や偽証などが起こり、消費者にとって不利益なことが起こらないか心配。

・供給責任が心配

・これまでは電力を独占供給してきた大手電力会社が不当に値上げをしないように料金規制が行われてきたが、競争が激しくなると大手電力会社が顧客を離さないために、逆に薄利多売で不当に値下げをするようになるのではないかと思う。現実として、各家庭のソーラー発電に蓄電池をセットすることでお得になるプラン（結局は原発で作られてしまう夜間電力を蓄電用に売りつけることが目的）などが関連会社から紹介されるなどしている。電気自動車も然り。からくりを知らない消費者は、安い方が得だと思って契約してしまうと思う。しかし、それを推進するために原発の再稼働や新規建設を進める可能性があり、それによって生じる大きなツケが後世に回されることを危惧する。

《その他の要望》

・2020年に、現行の電力会社優遇策である「総括原価方式」を必ず撤廃させること。

・規制料金の撤廃には賛成だが、大手電力は原発関連の会計制度が優位になっており、託送料金に移譲されるようになっていないのは納得できない。送電網を各自治体が管理する必要があると思う。

・公共のライフラインは、誰でも安心して利用できる事が求められています。原発よりは、自然エネルギー利用で電気を利用できるようにすべきだと思います。

・値下げ合戦をしてサービスが落ちないようにしてほしい。

《よくわからない》

・規制料金の内容がよくわからない。

《様子を見る》

・なりゆきを見る

《その他》

・原発、石炭、石油、LPG等枯かつ燃料から脱却し真の再生可能エネルギー（バイオマス、水力、風力、太陽光、その他）による経済に向けた電気料金を考えてゆく事が大切と思う

・消費者にとって、何年も先をみこして本当に電気料金が下がり、原発にたよらなくてよい電気を受けるためには何が大切か。大手電力はかくしたり、ごまかしたりしていることが多くて信用できない気がする。

・再生可能エネルギーといいながら、実は石炭火力発電だっりの情報隠しや不当労働など。

・非常に難しい問題だと考えます。政治状況にも左右されるのではとも思います。

・特になし

都市圏以外

《競争、選択》

・競合する企業が少ないので現状では期待できないが、将来を考えると競争は必要。

《競争が十分に起きていない、大手に有利》

・今は送電網を大手電力会社が持っているので、完全に自由な競争にはならないのではないかな。

・電力小売業者間の競争は十分にできている状態とは思えない、大手電力の優位（独占?）のなかで、自然エネルギー発電をと考えているが制度や条件で進まないように思える。

・地方は大手独占からなかなか変わらないと思う

《撤廃されたら料金はどうなるのか？上がる？》

・撤廃されたら電気料金はどうなるのか

・規制の撤廃で人口の多い地域はいいかもしれないが、地方は上がるのではないかな？

・自由化で、料金が安くなるとも思えない。

・電力の値上げが頻発しそうで、心配になりました。

《撤廃後の監視、規制》

- ・制限なき独占にならないよう、監視体制を確立する必要がある。
- ・安さを強調した新規参入業者の安定供給や倒産に対しての監視体制を徹底してほしい。
- ・規制料金が撤廃されても、今までの慣習を変えて自由競争が活発に起きるとは思えないので、慎重に監視し、新規参入の電力会社に消費者がおどられることのないよう、十分に監視していただきたい。
- ・現在の大手電力会社の影響力が強く残るかたちでの規制料金撤廃は市場競争を生まず、いびつな料金になるだけだと思います。より大手の電力会社の影響力をそぐような政策的介入をする必要があります。その上での、料金規制の撤廃であるならばよいかと思います。
- ・監視規制に併せ規制の強化がしてほしい。
- ・撤廃され安い料金の選択がわかりやすく示されること。撤廃後の監視体制を徹底し、定期的に情報提供してほしい。

《情報提供の要望》

- ・分かりやすい説明と公平な情報提供を社会的弱者まで届くようにしてほしい。

《知りたい》

- ・疑問点が多々ありよくまだわかりません。完全自由化になって、電力の供給が不安定になったカリフォルニアの例もあるが、日本で同様の状況が生じないのか。

《心配、不安》

- ・電話勧誘や、訪問販売で不当な勧誘がされるのではないかと不安。（しぼりのある契約や、違約金の説明などを十分にせず、契約締結させるなど）
- ・電力小売り会社の代理店からの勧誘等で新たな消費者被害が発生するのではないかと心配です。
- ・利用する家庭に合った料金プランを正しく選べるのか。不利益を被る可能性もある。非常に不安だ。
- ・日本の電機供給システムは素晴らしいと思う。行き過ぎた価格競争により、供給システムを維持できるのか心配である。
- ・配電サービスや保守点検の品質向上が心配です。

《その他の要望》

- ・人間の生活に必要なものは国がやるべきと思う。民間のもうけ対象は反対
- ・消費者の不利にならないような進め方にしてほしい。
- ・地方でも選択できる会社が増え、料金が安くなるのか？PCなしでも、会社を選ぶ情報がムリなく入手できるようにして欲しいスマートメーターでなくても契約できるように、もしくは電磁波被害の少ないスマートメーターにしてほしい。本当に困っている！

《よくわからない》

- ・料金プランの細かな比較ができるまでの情報提供が、あまりないので、よくわからない。
- ・上の方で説明してくれてたけど、それでもわかりづらい。よってこの問6の質問もよくわからない。

《様子を見る》

- ・今後安くなるようには思えない。今もそう感じない。あまり安く思えないからあえて変えようとも思わない。そこまでのリスクはいらない。

《その他》

以上